

令和2年度 病害虫防除情報

令和3年3月23日
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：全域

[発生状況等]

- (1) 昨年9月の調査において、新梢葉での発生ほ場割合は平年より高く、発病葉率も高い状況でした(図1)。
- (2) 向こう1か月の天候予報(仙台管区气象台3月18日発表)によると、気温が高く、降水量は平年並～多いと予想されています。

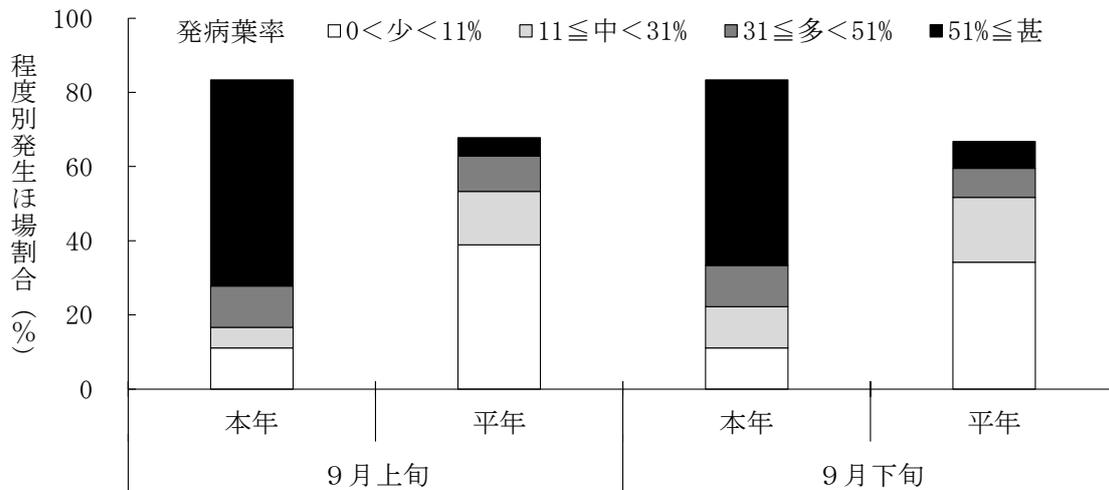


図1 新梢葉での発生状況(2020年9月上旬、下旬)
調査地点：福島地区9園地、伊達地区9園地 平年：過去10年の平均

[防除対策] 耕種的防除と薬剤防除を徹底しましょう！！

(1) 耕種的防除

- ・春型枝病斑は開花前から発生することがあるため、3月下旬以降、ほ場内をよく観察し、枝病斑を見つけ次第、疑わしい枝も含め、徹底してせん除してください。
- ・開花前の無機銅剤の散布によって病斑の発見が困難となる場合は、芽や新梢葉の発育不良や枝表面の黒変を発見の目安としてください(図2、図3)。
- ・春型枝病斑の発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回実施してください。
- ・春型枝病斑をせん除する場合は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて可能な限り基部まで切り戻してください(図4)。
- ・春型枝病斑が樹冠上部に発生した場合は、その直下で被害が大きくなるので、見落とさないよう注意しましょう。

(2) 薬剤防除

- ・生育が早まっているため、防除が遅れないように気を付けましょう。病原菌は降雨で拡散するため、防除対策は降雨前に実施してください。
- ・薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。また、同一薬剤の連用は耐性菌が出現するリスクが高まるので、連用せずに薬剤のローテーションにより防除を行ってください。

～春型枝病斑の特徴と見分け方～

- 枝の表面が黒ずみ、やがて亀裂が生じて凹む
 - 新葉が赤っぽくなる
 - 新梢葉の伸びが悪い（部分的に芽が枯死している）
- などの症状がみられた場合は、春型枝病斑の可能性が高いため見つけしだいせん除しましょう！



図2 無機銅剤散布後の春型枝病斑

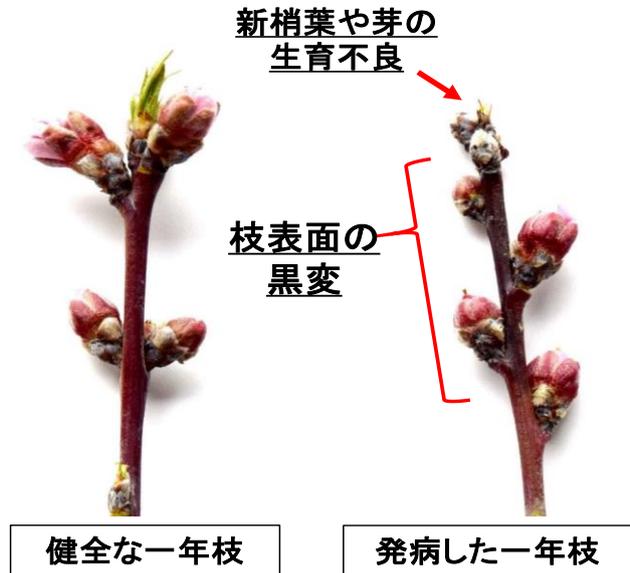


図3 春型枝病斑発見の目安

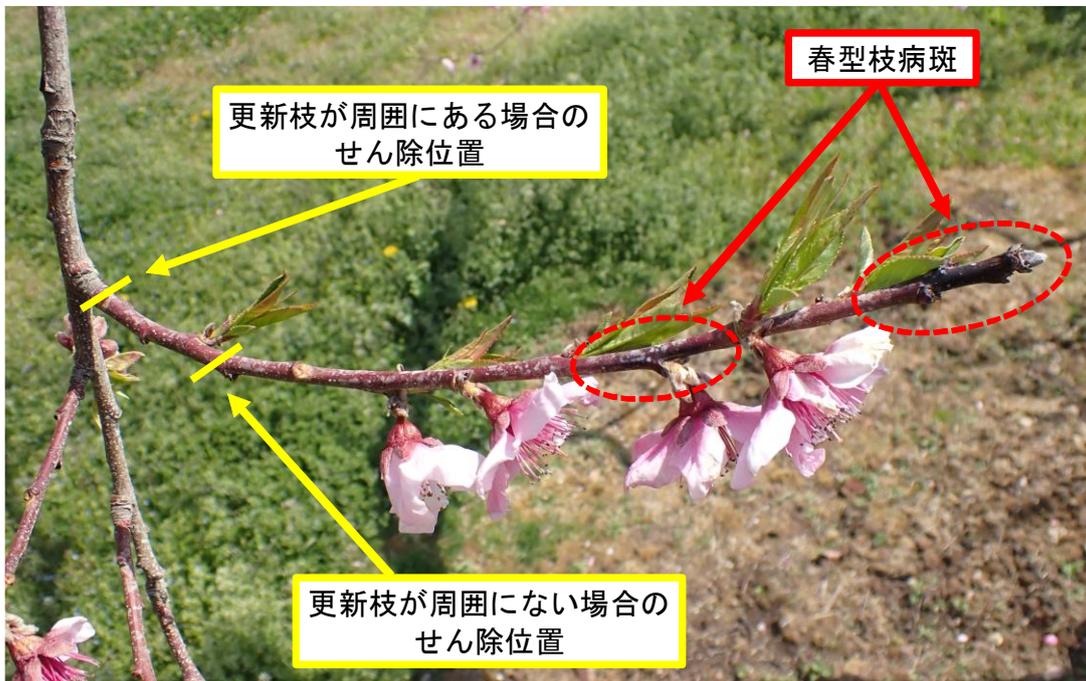


図4 春型枝病斑のせん除位置

写真提供：農業総合センター果樹研究所

- 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。本情報は、病虫害防除所ホームページ (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>) でもご覧になれます。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727